

令和4年5月25日

保護者各位

認定こども園 國學院大學栃木二杉幼稚園



## 6月園だより

新年度スタートから3ヵ月目。環境の変化や大型連休を経て、子ども達もすっかり園生活のリズムに馴染んできたように感じられます。

春から初夏、梅雨と子ども達が季節の移り変わりを体感するには良い時期ともいえます。子ども達にとってはお日様の光が恋しい日々が続くかもしれませんね。園では、自然観察など気づきを促すような活動をしていきたいと考えています。

5月30日（月）から衣替えとなります。

- ・水色セーラーの園服と紺の半ズボンと水色の園帽子です。
- ・園帽子には、新しいリボンを付けて登園してください。
- ・冬用の紺帽子に付いているリボンは10月より再び使用しますので、そのまま大切に保管してください。

※園服の中は気温によって調節してください。



### 《6月の納入金について》

保育料を6月10日(金)までに、銀行にご用意ください。

### 《自宅弁当についてのお知らせ》

暑さも厳しくなり食中毒の心配もある為、6月から9月まで自宅弁当はありません。

## 6月の主な活動

日	曜	行事	主な活動や遊び
6/1	水	二杉クラブ③ 年長セカンドステップ	
2	木	年中園外保育	<p>年長…戸外で元気に遊ぼうね！登り棒や縄跳び、鉄棒にも挑戦してみよう！ リボンや和太鼓のリズム打ちにも親しんでいこうね。</p>
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		<p>年中…大きなシャベルで、砂の湿り具合を感じながら穴掘りしたり、山やトンネル作りを楽しもう！ 広告紙を使って、自分で作って紙鉄砲や紙飛行機で遊ぼう！</p>
7	火	年長体育あそび 年少・たんぼぼ園外保育	
8	水		
9	木		
10	金	親子の会(年少・年中)	<p>年少…ダンゴムシ・テントウムシ・雨が大好きなカタツムリ、どこにいるかな？探してみよう！！ カスタネットをたたいてみよう。どんな音がでるかな？</p>
11	土	親子の会(年長)	
12	日		
13	月		
14	火	年長体育あそび	<p>たんぼぼ・つくし・つぼみ 雨の音を聴いてみよう！ポツポツかな？ザーザーかな？ お部屋でも新聞紙をビリビリして雨を降らせてみようね。</p>
15	水	6・7月誕生会	
16	木		
17	金	災害避難訓練(水害)	
18	土		<p>年長…戸外では、スクーターやリレー等友達と力を合わせて挑戦してみよう。 みんなで協力して水やトンネルを使い、ダイナミックな砂遊びを楽しもう！</p>
19	日		
20	月	年長セカンドステップ	
21	火	年長体育あそび 年長セカンドステップ *ハッピー子育て*	
22	水		<p>年中…長縄(大波小波)や短縄(縄回し、一人跳び)にも親しんでいこうね。 楽器であそぼう！歌に合わせて、いっぱい鳴らしてみよう！</p>
23	木		
24	金		
25	土		
26	日		<p>年少…広告紙や新聞紙を使って遊んでみよう。 ちぎったり、丸めたり、大きな袋に詰めてボールなどに見たてて遊ぼうね！</p>
27	月		
28	火	年長体育あそび	
29	水		
30	水		<p>たんぼぼ・つくし・つぼみ お庭で、葉っぱの後ろに隠れている虫さんたちをさがしてみようね。 あじさいのお花って、きれいな色や色々な形があることを感じ、触れてみよう。</p>

# 絵本だいすき



5月20日にお渡ししました【5月号 こどもがまんなかしんぶん】を、すでにお読みいただけましたでしょうか。特に、2頁の第13回 ～抜粋～

幼稚園・認定こども園に勤務し、子ども達の反応を肌で感じることのできる私たちだからこそ選ぶことのできる絵本を「第13回ようちえん絵本大賞」として発表します。

絵本に触れることの意味とは何でしょうか。ある大学の先生は「**絵本は読み聞かせてもらうことに意味がある。**」と言われました。子どもにとって読み聞かせてもらう時間は、**読み手の愛情を受け取る時間。愛されたという記憶が子ども達の成長にとても重要です。**

松井直先生（児童文学者）が「**絵本は何かを学ぶことを期待するものではなく、その世界に十分に入り込むことが大切。そのことが子どもの内なる世界を豊かに膨らませます。**」と言っておられます。文字を覚えるために絵本を利用しても内なる世界は膨らみません。絵本の本当の価値をしっかりと踏まえて絵本に関わっていきたいと思います。これからも沢山の素敵な絵本に出会い、紹介できるよう調査広報委員会一同、書店に通いたいと思います。

調査広報委員会専門委員 波岡 伸郎

また、**2022年度版【絵本の与えかた】**絵本の与えかた **松井 直先生**がとても重要なことを述べられていますので、是非 お読みいただきたいと思います。

## ～絵本の与えかた～

- ・絵本は、**子どもが生まれてはじめて出会う“本”**です
- ・**“本”好きな子どもに育てるには**
- ・絵本は、**おとなが子どもに読んであげる本**です
- ・赤ちゃんの絵本
- ・2歳3歳の絵本
- ・4歳児の絵本
- ・成人式を終えた絵本
- ・5歳・6歳児の絵本
- ・科学の絵本、知識の絵本
- ・おしまいに————**私たちはこの子の親**なのです。



**5月号の絵本を持ち帰りましたら、是非 お家の方の声で読んであげましょう。**  
1冊の絵本を繰り返し読む中でいろいろな発見が見つかります。

# 6月の月刊絵本

年長 みんなでドライブ

遠藤 イヅル/作

家族みんなで車に乗って、キャンプ場へと向かいます。街中や高速道路、山道を走ったり、途中、サービスエリアで休憩したり、ガソリンスタンドで給油したり。スポーツカー、セダン、ミニバン、トラック、バス……と、1960年代から2020年代までの多彩な車が80種類以上登場する、楽しいドライブの絵本です。



年中 でてきて おひさまスロバキア民話

ほりうちみやこ/再話

ほううち せいいち/訳

あるとき、大きな黒雲が空を覆って、お日さまが出てこない日が3日も続きました。そこでひよこたちは、動物たちと一緒にお日さまを探しに出かけます。山を越えて、雲に乗って、やっと見つけたお日さまは、黒雲のせいで顔が真っ黒でした。そこでみんなでお日さまを大掃除！天地を結ぶ壮大な民話を、堀内誠一さんがダイナミックに描いた作品です

年少 うみのいきものかくれっこ

みやまちともみ/作

海の生き物たちが、みんなでかくれっこ。どこにいるか、わかるかな？ ここ、ここ、ここだよ——。カニは岩の隙間、カレイは海の底の砂の下、タツノオトシゴは海草の陰、クマノミはイソギンチャクの中と、それぞれの体の特徴を生かして隠れます。いろいろな紙の質感を生かした貼り絵で、ユニークな海の生き物たちを親しみやすく表現した絵本です。



どうぶつの子どもたち

小森 厚文、藪内 正幸/文



たんぽぽ①・② どうぶつの子どもたち

小森 厚/文 藪内 正幸/絵

イヌの子どもたちはおいかけっこ、ウマの子どもたちは競走、ヤギの子どもたちは頭の押し合い……。動物の子どもは、遊んでいるように見えて、実は成長してからの体の動きの練習をしているのです。